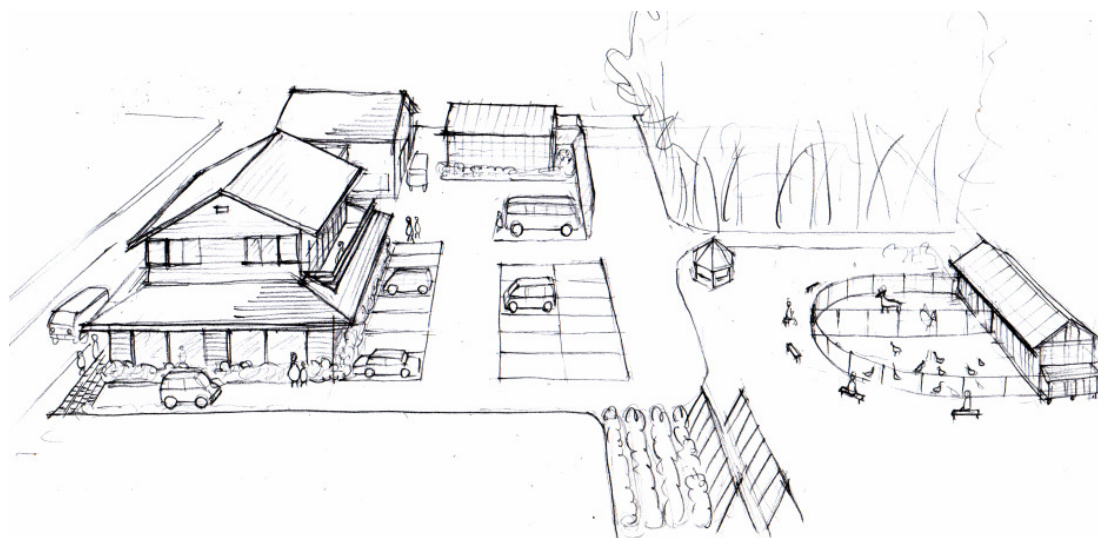


農産複合施設「みこと」(仮称) 設立趣意書

2006年12月23日

「いのちの村」設立準備連絡会

「いのちの村」から「みこと」が生まれます



イメージ図 (完成予想図ではありません)

私たち「いのちの村」設立準備連絡会は、富士山のふもと、静岡県富士宮の地に、農産複合施設「みこと」の建設を計画しています。

そこには、広くてゆったりとした食堂があります。「木の花農園」の大家族やたくさんのお客様が食卓をにぎやかに囲み、農園で採れた無農薬有機栽培の食材を使った食事が並びます。お味噌やお醤油、お豆腐、漬物なども、みんな昔ながらの自然な手作りです。自給自足の豊かな食生活が、そこでは実現されています。

食堂はホールにもなります。ステージで音楽を奏でたり、講演会や上映会など、さまざまな催し物が開催されたりと、いつもにぎわっています。

食堂の隣には、漬物や干し物、お豆腐や納豆などの農産品を手づくりする加工場があります。醸造場では、農園で栽培した原料を昔ながらの製法で麹から仕込み、長い期間をかけて熟成した本物の醤油や味噌を作っています。売店では農作物や加工品が販売され、電話やファクス、インターネットからの注文を通じて全国に発送されていきます。

2階には、宿泊施設があります。訪れた人はそこに滞在しながら、農園の暮らしや農作業を体験したり、ゆったりとした時間を過ごしたりすることができます。農業を志す人は、長期間の滞在で農業研修を受けることもできます。

都会の生活や仕事のストレス、人間関係など、さまざまな理由で心身のトラブルを抱えた人は、「自然療法」を受けることもできます。ストレスの多い環境を離れ、まずは健康的な生活リズムや生命力あふれる食事で心身を整え直します。それまでの自分の生活を振り返り、病の原因となったさまざまな事柄を落ち着いて捉えなおすことで、薬や高価な療法に頼ることなく、自ら治癒する力を取り戻していくのです。

「みこと」の出発点

こうした営みは、すでにそのほとんどが「木の花農園」の事業を通じて実現されています。

私たちは、「いのちの村」の出発にあたり、農園がすでに行っているさまざまな営みを基盤とした新たな事業の立ち上げを構想しました。

しかし、農園の現在の施設は、一般の住居として建てられた建物を利用しているため、これ以上の事業の拡張は難しいのが実情です。

そこで私たちは、「いのちの村」の最初の事業として、農園がすでに行っているさまざまな営みを基盤に、より大きな枠組みと広がりを持たせ、発展させていくための中核施設として、農産複合施設「みこと」の建設を計画しました。

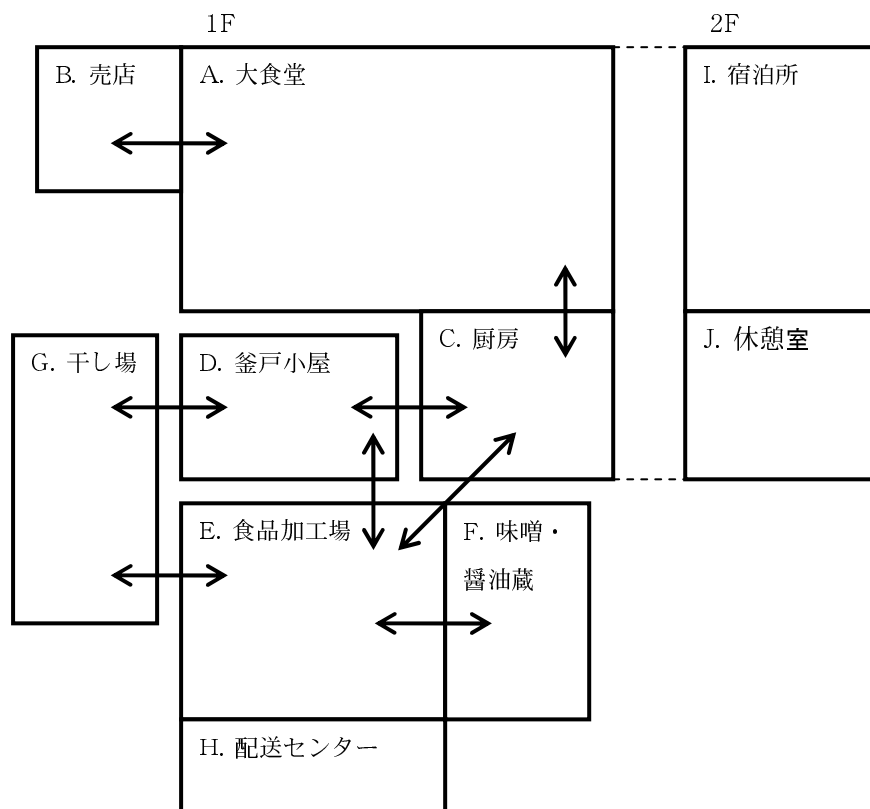
「みこと」で行われる事業は、「木の花農園」の13年にわたる実績とノウハウ、そして顧客ベースをそのまま生かし、さらにその枠を超えていくものとなります。

「いのちの村」の概要や、「いのちの村」と「木の花農園」の関わりについては、別資料『「いのちの村」構想について』をご用意しています。詳しくは8ページをご覧ください。

「みこと」の機能ブロック

「みこと」の機能ブロックを下図に示します。

なお、この図は機能のブロックを図示したもので、実際の設計レイアウトとは異なります。



「みこと」の機能概要

A. 大食堂

大食堂は多目的ホールを兼ねた空間で、農産複合施設「みこと」の中核となるスペースです。

- 収容人数 100 名前後 (パーティションで分割可能)
- 床座式、囲炉裏付き長テーブル
- バリアフリー設計
- ステージ
- 音響設備
- 映像設備 (プロジェクター、スクリーン)
- 壁面ギャラリー

■ 施設イメージ

「和」の雰囲気大切にしたいと考えています。

和 = 「和風を基調とした空間」としての和、「調和の心を表した空間」としての和

B. 売店

売店では、農産物や加工品を販売します。

■ 施設イメージ

外周に面した、開放感のある空間が好ましいと考えています。

C. 厨房

厨房は以下の機能を持ちます。

- 食堂で供される食事の調理 (最大 100 名)
- 菓子 (焼き菓子など) の調理
- 農産加工品の製造
- お弁当の製造 (最大 200 食に対応する配膳台)

■ 施設イメージ

多様な調理業務に対応できる厨房設計が必要です。

D. 釜戸小屋

半屋外に釜戸数個を設置します。厨房、食品加工場の調理設備として利用します。

■ 施設イメージ

厨房、食品加工場、味噌・醤油蔵から利用されるため、位置的な機能性が重要です。

見学の主要なスポットになるため、「絵になる」光景を提供したいと考えています。

E. 食品加工場

農産物の加工品を製造する施設です。

以下のような食品の製造を前提としており、包装などの工程にも対応します。

- 漬け物、豆腐、納豆、乾物、製粉、ポン菓子、焙煎加工品、その他

■ 施設イメージ

多様な加工品に対応できる柔軟性を持たせた設計が必要です。

外観を損ねない範囲で、簡素で安価な構造物を利用したいと考えています。

F. 味噌・醤油蔵

味噌、醤油の醸造を行う施設です。麹室を併設します。

■ 施設イメージ

原料の加工は加工場、釜戸小屋で行うため、主な用途は醸造樽の置き場となります。

見学の主要なスポットになるため、木造りなど、雰囲気のある造りが望ましいです。

G. 干し場

主に乾物の天日干しに使用する干し場です。

■ 施設イメージ

雨天でも利用できる必要があるため、ビニールハウスなどを想定しています。

H. 配送センター

農産物や加工品について、近隣への配送および宅配便を利用した発送を行います。

■ 施設イメージ

倉庫のような簡素な構造物で対応できます。荷物の積み込みなどを配慮して、道路か駐車場に面した場所に設置したほうが好ましいと考えています。

I. 宿泊施設

数室の宿泊室、宿泊者用の浴室、洗面所、手洗いを設置します。

■ 施設イメージ

宿泊室は、実用的で簡素な造りの和室を想定しています。

J. 休憩室

従業員の休憩所、コンサートなど催事の控え室として利用します。

■ 施設イメージ

実用的で簡素な造りの和室を想定しています。

「みこと」の建設予定地

「みこと」の建設予定地は、静岡県富士宮市にあります。田畑の多い住宅地の一角、400坪ほどの宅地で、「木の花農園」の自宅から200mほどの距離にあります。富士山を雄大に臨む土地で、温暖な気候に加え、東名高速、中央自動車道からも近く、大都市圏からのアクセスも良好です。



事業体としての「みこと」

「みこと」では、以下の事業を行う予定です。

食堂事業、催事事業

- 完全予約制の食事を提供
- 基本的に日替わりの食事のみ
- そこで生活する人、働く人と共に食卓を囲む「食堂兼レストラン」
- コンサート、講演会や勉強会などの催事、催事と組み合わせた食事会

弁当事業

- 完全予約制、数量制限あり
- 希望価格に応じたおまかせの菜食弁当のみ
- 近隣（富士宮市、富士市、芝川町）への宅配サービス

■ 今後の事業展開

- ・ 地域福祉と連携して、お年寄りの家庭などへの定時宅配
- ・ 食養を取り入れた病院などへの食事の提供

食品事業

- 農産物および加工品の製造販売
- 週単位で配送する契約制野菜セットの販売
- 近郊（富士宮市、富士市、芝川町）への宅配サービス
- 電話、FAX およびインターネットによる通販、宅配サービス
- 催事への出店

■ 今後の事業展開

- ・ インターネットを通じた通販
- ・ 近郊および遠隔地に小店舗を設けての販売

経営支援事業

- 「いのちの村」を通じた起業志望者のコンサルティング、企業支援
- 「いのちの村」と理念を共有する事業のコンサルティング、事業提携
- 新規就農指導、支援

■ 今後の事業展開

「いのちの村」と連携した事業体に対して、以下の事業基盤を提供します。

- ・ 流通システム（例：インターネット通販、配送の代行、連携事業体との組み合わせ商品の実現、etc.）
- ・ 貨幣によらない物々交換による決済の仕組みの導入

グリーンツーリズム事業

- 田舎暮らし体験、農業・畜産体験ができる宿泊、体験プログラムの提供
- 木の花農園と連携した「自然療法」プログラムの提供

■ 今後の事業展開

- ・ 整体やマッサージ、酵素風呂などと宿泊、自然食による食事療法を組み合わせた癒しを提供します。

教育事業

- 有機農業講座の開催

- 農業研修生の受け入れ
- 学校などと連携した就業体験の提供

■ 今後の事業展開

地方自治体や地域住民と連携し、食育センターとしてさまざまな啓発事業を行っていきます。

- 農業と食のつながりを実体験する場の提供
- 自然食料理教室の提供

「みこと」の運営主体

「みこと」の運営主体となる法人の設立を、2007年度中に予定しています。組織の形態は未定ですが、設立メンバーが所有する株式会社の転用などを検討しています。営利活動を行うため、非営利活動法人などの組織形態はとりません。

なお、「みこと」の主要事業には「木の花農園」が密接に関わりますが、「みこと」の運営主体は「木の花農園」とは別組織です。「木の花農園」は法人ではなく、個人事業主の任意団体であるため、農園メンバーと雇用関係を結ぶか、事業委託関係を締結することになります。

私たちが求めているもの

これから建築計画を進めていく上で、私たちは以下の資源を必要としています。

建築設計を共にすすめるパートナー

「みこと」の設計を担ってくださる建築家さんを求めています。

「いのちの村」の設立理念である『人と人、そして人と自然が本来持っているつながりを取り戻し、いのちが循環してゆく新たな社会づくり』に共鳴して、その理念を共に表現してくださる方を探しています。

以下のようなコンセプトを取り入れた設計を実現したいと考えています。

- 環境への配慮
- リサイクル資材、設備の活用によるコストの削減
- さまざまな方に参加していただける手作りプロセスを積極的に取り入れた設計・施工

運営スタッフ

「みこと」の運営を共に担うスタッフを募集します。とくに、食堂、宿泊施設の運営を統括するマネージャーを求めています。

私たちは、以下のような理念にもとづいた仕事環境をつくりたいと考えています。

- 売り上げや利益のみにこだわらない、「いのちの村」の理念に沿った運営
- 仕事場の調和を保った、全員参加による運営
- 生活と切り離さず、日常のリズムにもとづいたペースでの労働

建設資金、運営資金

建設資金および当座の運転資金は、主に設立メンバーの拠出によって準備する予定です。
また、「いのちの村」の理念に共鳴してくださる個人や企業の出資を募っていきます。

資材、設備

建築資材や設備については、リサイクル品や倒産処分品といった物資を積極的に活用していきたいと考えています。あらゆるネットワークを通じて必要な物資の入手に努めていきますので、それらの資材や設備、あるいは情報をお持ちの方のご協力を求めています。

ご訪問を歓迎します

農産複合施設「みこと」や「いのちの村」、「木の花農園」に関心を持ってくださった方は、ぜひ「いのちの村」の出発点である「木の花農園」をご訪問ください。

ご訪問に際しては、以下のような内容で農園を体験していただきます。

- 「いのちの村」および「みこと」についてのご説明、ディスカッション
- 「みこと」建設予定地の見学
- 農園の営みについてのプレゼンテーション
- 農園家族とともに、自給自足による食卓を囲むお食事
- 田畑や鶏舎、作業場などの見学
- 農園楽団による歓迎のホーム・コンサート

下記の連絡先までお申し込みください。

連絡先

「いのちの村」設立準備連絡会

418-0114 静岡県富士宮市下条 923-1

TEL: 0545-58-7568 / FAX: 0545-58-8015

ホームページ: <http://inochi.main.jp>

メールアドレス: inochi@af.main.jp

「いのちの村」構想の詳細については、上記ホームページをご覧ください。別資料をご用意していますので、上記までご連絡ください。「木の花農園」については、ホームページ (<http://www.konohana-nouen.org>) をご覧ください。上記まで農園パンフレット (有料、100 円) をご請求ください。